



進路通信

第4号
平成30年9月19日
寒河江高校 進路指導課

寒高卒業生によるパネルディスカッション！H30 キャリア講演会開催★

(H30年度 大学等進学者の地域産業理解促進事業「高校生と地域企業等の交流事業」)

◆9月15日(土) 文型:体育館 理型:講堂にて

今年度も恒例のキャリア講演会が校内で開催されました。本校を卒業して社会で活躍されている現在30代を中心とした卒業生をパネリストとしてお招きし、ディスカッションしていただきました。文型そして理型と2つに分かれて、それぞれ4名のパネリストにご参加いただきました。先輩方は高校、大学卒業後に地元山形に戻って地域のために様々なフィールドで働き活躍されている方ばかりです。お忙しい中、現在寒高で学んでいる後輩達のために貴重な機会をいただきました。

パネリスト

文型 古澤 幸恵 氏 (ゆきわり養護学校 H15 卒)
大江 幸一 氏 (JA 寒河江 管理部 H14 卒)
今野 雅人 氏 (きらやか銀行酒田支店 H13 卒)
逸見 崇史 氏 (県民文化スポーツ課 H15 卒)

理型 奥山成理咲 氏 (東北パイオニア EG 第二設計部 H23 卒)
柏倉 弘典 氏 (訪問看護ステーション いぶき H11 卒)
堀 翔太 氏 (日東ベスト 試作開発部 H23 卒)
小松次朗太 氏 (日東ベスト 東根工場 H15 卒)

各会場において司会の先生を中心にパネリストの先輩方には次のようなお話をいただきました。

①自己紹介

男性6名に女性2名、出身中も出身部活動も卒業後の進路も卒業した年もそれぞれが異なる方々にお集まりいただきました。でも全員が生徒達と同じようにこの寒高で学び社会へと巣立っていったOB・OGの先輩達です。

②現在の仕事で頑張っていること、やりがい、仕事内容について

製造業、医療、金融、教育、公務員などと幅広い分野において語っていただきました。業務は焼き肉、とんかつの製造から回路の設計までその業種に応じて様々でした。お客様に認められて自分の仕事をリピートされたとき大変やりがいを感じるとのことでした。

③上級学校で学んだこと、どうやって就職先を決定したか、学生と社会人との違いについて

4年制大学、短大、大学校と先輩方の進学先も多種多様でしたが共通していたことは、上級学校に進んで自分が選択した専門分野について学んだということです。寒河江高校の普通科で

は一般的な基礎知識を幅広く学びましたが、上級学校では高校では学ぶことのなかった分野を深く学び自分の将来を模索していきました。就職先は学校を卒業する1年ほど前に就職活動しながら、自分らしい生き方を考えて決めていたようです。学生から社会人になってからは、製品1つ販売するにしても原料を作る人、加工する人、流通する人、マーケティングする人など多くの人の手がかかっていることを実感したようです。また、好きな企業に就職しても自分のしたい仕事ばかりとは限らない。そんな仕事の大変さを通して大人としての責任を養い成長できたそうです。先輩方もそうやって徐々に社会人になったのですね。

④寒高時代の学習について、文型または理型を選択した理由、高校時代にしておくべきこと

遅くまで部活動をして帰宅してからの予習、そして復習とやはり先輩方も高校時代に学習には苦勞していました。進学したい学部や教科の得意不得意による文理選択のエピソードも1年次生にはためになりましたね。それからほとんどの方は高校時代にもっと【英語】を勉強しておくべきだったと口をそろえて言っていました。急速にグローバルが進む中、必要となる場面がやはり増えてきており、社会人では勉強し直す時間があまりとれず苦勞しているようでした。

⑤後輩への熱いメッセージ

何事にも挑戦し多くのことを経験すること、たくさん遊ぶこと、様々な情報に触れること、本を読むこと、クラスメイトや先生との今の時間を大切にすること、後悔ないように高校時代をやりきること、夢や目標をもつこと。本当に熱いメッセージをいただきました。

⑥質疑応答

苦手な教科の学習方法、受験時のストレス発散法、実際に仕事をしてのイメージとのギャップについて、多忙な高校生活での時間の作り方と過ごし方など本校生徒からも多くの質問が出ました。自分の体験を基にして一生懸命アドバイスしていただき、本当に良い時間となりました。

寒高OB・OGの先輩方から教えていただいた貴重なお話を今後の学校生活に役立ていきたいと思えます。お忙しい中、母校寒河江高校へご訪問いただき本当にありがとうございました★

